

かごしまフォロワー  
かごフォロ

シンガー・ソングライター 長瀬 剛 さん

【広報課☎216-1133FAX216-1134】



Photo by Osamu Nagahama

1956年生まれ。鹿児島市出身。1977年にデビュー。数々のヒット曲を生み出すとともに俳優としても活躍。鹿児島市の医療機関の地域貢献に感銘を受け、医療従事者や患者に向けた大型壁画を制作

※同壁画は、与次郎米盛クリニックの待合ロビーに描かれており、現在新型コロナの感染対策のため見学目的の入館はできません

少年時代の鹿児島は、自然が豊かで、生き物のおいもあふれる中、野山を駆け回り、トンボやチョウを追いかけていました。また、「今日、母ちゃんおらんなら、うちにご飯食べにこんね。」とか、声を掛け合いながら、みんなが一つのフィールドで仲良く生きていました。それぞれが助け合って地域社会が成り立っていたんですね。それが、自分の原体験になっていると思います。

高校時代は、フォークソングの全盛期。その少し前には、学生運動で若者たちが社会のために戦う姿を目にしていました。自分にはそういう力はないんだけど、やがて、その姿がいつしか歌とリンクしていき、「社会」というものを一つのテーマにして、歌って戦えるんだということに気付きました。このことが、シンガー・ソングライターとしての原点になっていると思います。

僕の生涯のテーマは「誰のために生きるのか」ですが、最近は、「誰のために死ぬのか」ということをよく考えます。そうしたときに、最後はここ鹿児島だなという思いがすごくあり、自分の中では、大型壁画の制作がふるさとへの貢献の第1弾となりました。なのでここから先は、鹿児島に帰ってくる機会が増えると思っています。

ツアーなどで日本全国を回っていますが、「あら、帰って来やっとな〜」と声をかけてくれるのは唯一、鹿児島の人だけ。それがなんともいいですね。

これから、鹿児島のスペシャリストの皆さんたちと一緒に人が喜んでくれることを探し当て、鹿児島に貢献できる何かをやりたいと考えています。子どもは大人たちの背中を見て明日を夢見ます。目の前の大人たちの楽しそうで、苦しそうで、そして汗を流して生きている背中を子どもたちに見せて、鹿児島には夢や希望がたくさんあるんだという思いを共に作っていきたいですね。(インタビューの詳細は広報課Instagram「カゴシマファン」などでチェックを)



鹿児島貢献への思いを語る  
長瀬さん  
(与次郎米盛クリニックにて)

学芸員オススメ! No.86  
市立美術館の逸品

きむらたんげん 木村探元 『雪景山水図』

【市立美術館☎224-3400FAX224-3409】

### 薩摩の絵師が描いた理想の雪景色



この冬、本市では平年より19日も早く初雪が観測されました。雪化粧した桜島の姿に、清らかさを感じた人も多いのではないのでしょうか。絵画の世界でも、清浄な雪景色は、古くから好んで描かれてきました。

この絵は、鹿児島で生まれ、江戸時代の中頃に薩摩藩に仕えた絵師、木村探元の作品です。雪の港へ帰る2隻の帆船と、海岸線で彼らを待ち構えるようにそびえ立つ岩山が描かれています。現実の風景には見えませんが、これは、探元が「山水画」という中国に起源を持つ風景画の様式にのっとなって、理想的な雪景色を描いたからです。

また、この絵は探元が70歳になる年に描いた、畳一畳分ほどの大作です。太く引かれた輪郭線からは、老画家の手によるとは思えない力強さや、武の国鹿児島らしい剛直性も感じられます。

※3月5日(日)まで開催する「冬の所蔵品展」で展示しています

ひろばサポーターがゆく

鎌田ユリ園

【鎌田ユリ園☎070-5590-7406】

### 個性あふれるユリの世界へ

大きな花が咲き、香りにも特徴のあるユリ。私も好きで、よく家に飾ります。そんなユリを栽培し、市のイベントで収穫体験も開催する、吉野町の鎌田ユリ園取材しました。



ひろばサポーター  
有馬

ユリを栽培するたくさんのハウスが並ぶ同園。「オリエンタルユリは個性があるところが魅力で、同じ品種でも育て方によって形が異なるところが面白い」と、鎌田さんは話してくれました。どんなユリを作ればよいか模索してきましたが、お客様から信頼され、「鎌田さんが作ったユリだからいい」と言ってもらえるようなユリを作る考えに至ったそうです。



環境に合った育て方を試行錯誤し続けてさまざまな工夫をしてきましたが、最も大切にされているのは土づくり。有機物を入れて、微生物の力を借りた自然の堆肥の使用を5年間続けたところ、害虫が付かなくなったそうです。



栽培されている品種の中で、たくさんの花びらが特徴的な八重のオリエンタルユリ「サマンサ」は、花粉が出ないので室内観賞にお勧めだそうです♪

SNS上でもお客さんとの交流を大切にしている鎌田さんは「鎌ユリチャンネル」というYouTubeも開設しています。動画を制作する過程で植物の知識が整理され、スキルアップにもつながっているそうです。まずは動画をのぞいてみるもよし、見に行ってみるもよし。奥深いユリの世界を楽しんでみませんか?



YouTube



Instagram